

# 規制改革推進会議投資等WG説明資料

---

令和2年4月21日

# 保安基準の緩和認定について

## 保安基準の緩和認定とは

(道路運送車両の保安基準第55条関係)

地方運輸局長が、その構造により若しくはその使用の態様が特殊であることにより保安上及び公害防止上支障がないと認定した自動車については、保安上及び公害防止上支障がないものとして地方運輸局長が当該自動車ごとに指定したものは、適用しない。

基準緩和の認定については、地方運輸局長が条件若しくは期限又は認定に係る自動車の運行のため必要な保安上若しくは公害防止上の制限を付して認定する。

### 保安基準緩和車両例

長大又は超重量で分割不可能な荷物を輸送する車両



緑色点滅灯(誘導車及び幅広セミトレーラを牽引するトラクタ)



路線を運行する連節バス



自動運転車両



- ・安全な自動運転車の開発・実用化を促進するため、2017年2月、代替の安全確保措置が講じられることを条件に、保安基準の一部の緩和を可能とする、自動運転の実証実験に係る基準緩和認定制度を創設。
- ・本制度を活用し、各地で遠隔型自動運転システムや特別装置自動車などの実証実験が行われている。

2017年2月

## 自動運転の実証実験に係る基準緩和認定制度を創設

排ガス・騒音以外のすべての基準について、速度制限、走行ルートの限定、緊急停止ボタンの設置といった安全確保措置が講じられることを条件に緩和可能とし、実証実験を促進するための制度を創設

2020年4月

## 基準緩和認定制度を実用化等においても活用できるよう、適用対象を拡大

### 遠隔型自動運転システム

遠隔地にいる運転者が車両を監視・操作



### 特別装置自動車

手動運転時は従来のハンドル等と異なる装置で操作



BOLDLY (IBSBドライブ)社HPより

代替の安全確保措置の例(遠隔型)	緩和される保安基準の例(遠隔型)
遠隔地に車両の前方及び周囲の視界を確保できるモニター等を設置	車両前方・周囲の視界要件
遠隔地のモニター席に各種操縦・操作装置(ハンドル、アクセルペダル、ワイパー、前照灯等)を装備	ハンドル、アクセルペダル等の操縦装置
走行速度の制限(通信遅れによる影響を考慮)	ワイパー、前照灯等の操作装置

# 基準緩和制度を活用した自動運転の実証実験の例

## 遠隔型自動運転システム

産業技術総合研究所



2017年12月 (石川県輪島市)  
2018年4月～ (福井県永平寺町)

## 遠隔型自動運転システム

アイサンテクノロジー社



2017年12月 (愛知県幸田町)  
2019年2月 (愛知県一宮市、常滑市)  
ほか

## 遠隔型自動運転システム

先進モビリティ社など



2018年2月 (東京都大田区)

## 特別装置自動車

コンチネンタル・オートモーティブ社



2020年2月 (静岡県袋井市)

## 特別装置自動車

BOLDLY社  
(旧SBドライブ)



2019年7月 (東京都港区)  
2019年8月 (長崎県対馬市)  
2019年10月 (千葉県千葉市) ほか

## その他 (けん引能力)

ヤマハ発動機など



2019年1月 (秋田県上小阿仁村)

ほか

遠隔型自動運転システム: 遠隔地にいる運転者が車両を監視・操作するシステム

特別装置自動車: 手動運転時は従来のハンドル等と異なる装置(コントローラ等)で操作する自動車